

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド・スリランカ・バランス・ファンド（年4回決算型）」は、2020年4月6日に第10期決算を行いました。

当ファンドは、主として「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド」及び「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第10期末(2020年4月6日)

基準価額	7,521円
純資産総額	356百万円
第9期～第10期	
騰落率	△ 18.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

SBIインド・スリランカ・ バランス・ファンド (年4回決算型)

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

第5作成期

第9期(決算日2020年1月6日) 第10期(決算日2020年4月6日)

作成対象期間(2019年10月8日～2020年4月6日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

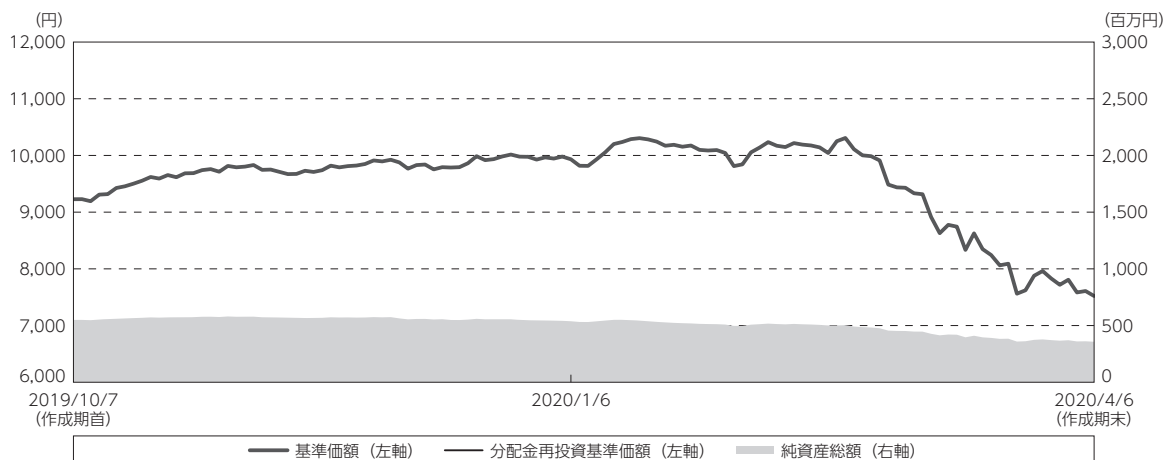
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2019年10月8日～2020年4月6日)



第9期首： 9,228円

第10期末： 7,521円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 18.5% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは主として「ステイト・バンク・オブ・インド株・マザーファンド」及び「SBIインド・スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年10月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

○基準価額の主な変動要因

当作成期初は、米中貿易協議の進展やインド準備銀行による追加利下げへの期待により、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから、当ファンドの基準価額は堅調な推移となりました。2019年末から2020年年初にかけても、米中貿易協議の第1段階の合意に加えて、インド準備銀行の金融緩和政策の継続やインド政府の追加景気刺激策への期待もあり、投資家のリスク選好姿勢が高まり、インド株式市場が過去最高値を更新する展開となったことから、上昇基調が継続しました。外国為替市場における円安進行もあり、当ファンドの基準価額は2月21日には当作成期の最高値となる10,308円を付けました。しかしながら、その後は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済への懸念から、世界の株式市場が急落し、当ファンドの基準価額も下落基調に転じました。3月以降は、新型コロナウイルスの感染者数増加に伴い、インドにおいてロックダウン(都市閉鎖)が実施され、インド株式市場が急落し、外国為替市場では円高が進行したことから、大幅下落となりました。当ファンドの基準価額は、当作成期末の4月6日に当作成期の最安値となる7,521円を付けました。

1万口当たりの費用明細

(2019年10月8日～2020年4月6日)

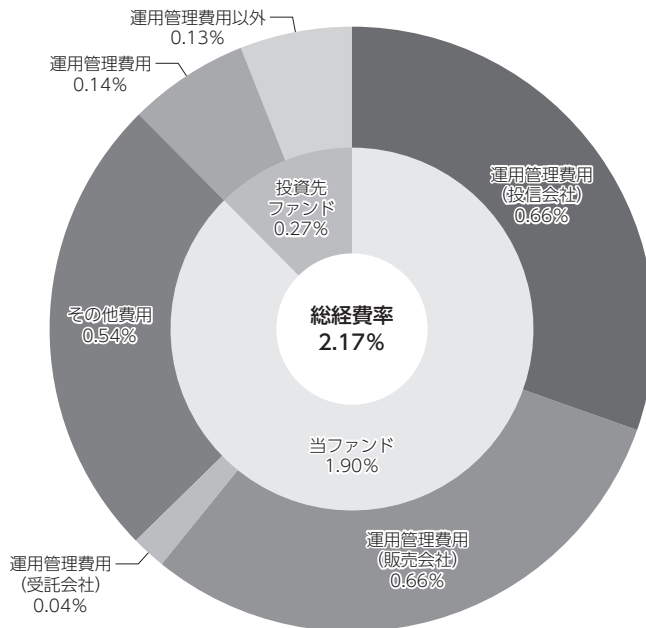
項 目	第9期～第10期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	65 (31) (31) (2)	0.678 (0.328) (0.328) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.027 (0.027)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.023 (0.023)	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷) (そ の 他)	25 (3) (8) (13) (1)	0.267 (0.037) (0.087) (0.133) (0.010)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等 インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	95	0.995	
作成期中の平均基準価額は、9,551円です。			

- (注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示しております。
(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.17%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.17
①当ファンドの費用の比率	1.90
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.14
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②及び③の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②・③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年4月6日～2020年4月6日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2017年10月6日から2020年4月6日)のみの記載となっております。

	2017年10月6日 設定日	2018年4月5日 決算日	2019年4月5日 決算日	2020年4月6日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,538	9,927	7,521
期間分配金合計(税込み) (円)	—	200	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.8	4.1	△ 24.2
純資産総額 (百万円)	700	816	648	356

- (注1) 当ファンドは主として「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBIインド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年4月5日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

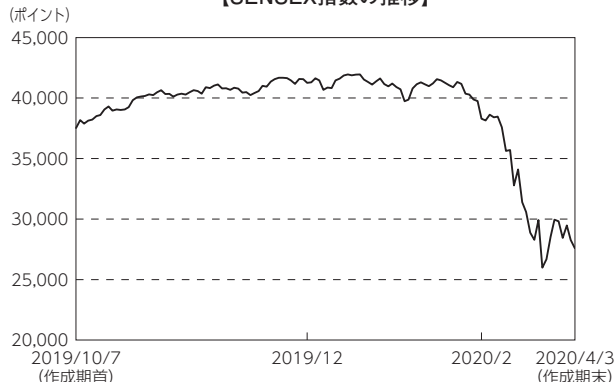
(2019年10月8日～2020年4月6日)

<インド>

【インド株式市場】

インド株式市場の代表的な指標であるSENSEX指数は、米中貿易協議の進展期待やインド準備銀行による追加利下げへの期待により、投資家のリスク回避姿勢が後退し、上昇基調となりました。その後も、インド準備銀行の金融緩和継続や政府の追加景気刺激策への期待もあり、同指数は40,000ポイントを超えて過去最高値を更新する展開となりました。しかしながら、2020年2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な株式市場の急落を受けて、同指数は下落に転じました。3月以降は、インド国内における新型コロナウイルスの感染者数増加に伴い、ロックダウン（都市閉鎖）が実施され、景気の先行き不透明感が高まったことから、同指数は30,000ポイント割れの水準まで急落して当作成期末を迎えました。

【SENSEX指数の推移】

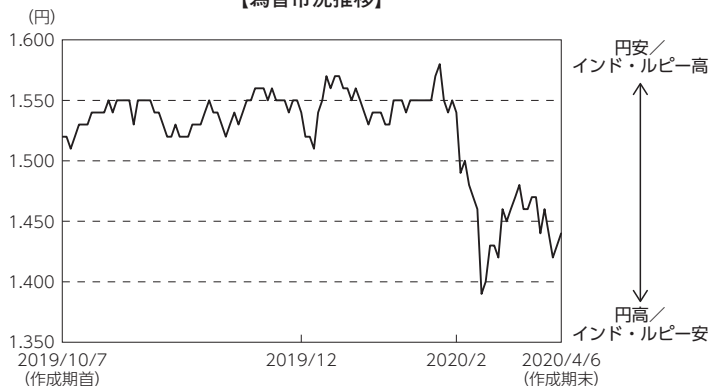


出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

【為替市況】

当作成期のインド・ルピーの対円レートは、1インド・ルピー＝1.5～1.6円のレンジ内で推移していたものの、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な株式市場の急落を受けて株式市場から資金が流出したことに加えて、有事の円高が進行し、一時1インド・ルピー＝1.4円割れの水準まで急落しました。当作成期末にかけては、やや持ち直し、1インド・ルピー＝1.4円台へ上昇しました。

【為替市況推移】



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

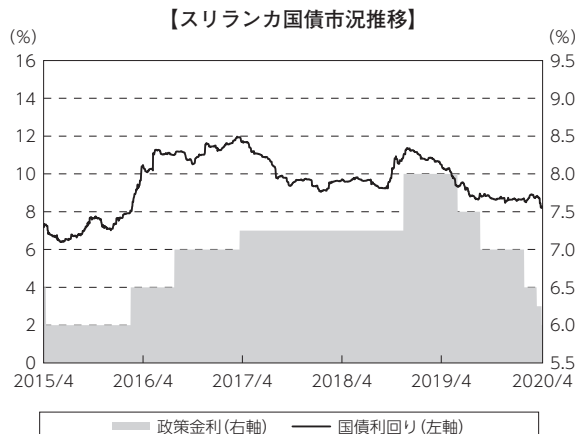
<スリランカ>

※以下のコメントの内容は、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【スリランカ国債市況】

当作成期は、スリランカ短期国債利回りは期の終盤にかけて低下（債券価格は上昇）しました。

スリランカ中央銀行によるインフレ見通しが低下したことに加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた金融市場の混乱などで、2020年の年明け以降に政策金利の引き下げが続き、国債利回りの低下につながりました。

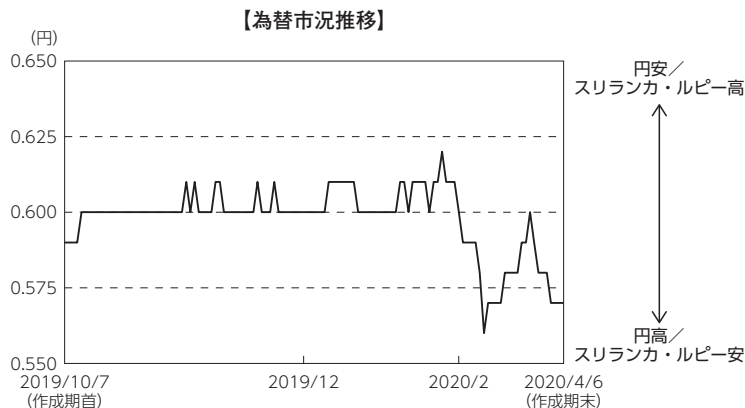


出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
 ※政策金利はスタンディング・ファシリティーの預入金利（SDFR）を使用しています。
 ※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。
 ※データ期間（2015年4月6日～2020年4月6日）

【為替市況】

当作成期は、スリランカ・ルピーは期の終盤にかけて円に対して下落する展開となりました。

外国為替市場では、2019年11月の大統領選挙後などにスリランカ・ルピーが上昇する場面も見られました。しかし、その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大となった2020年3月以降に、スリランカ・ルピーを含む新興国通貨は市場のリスク回避姿勢の強まりなどから、軟調な展開となりました。



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年10月8日～2020年4月6日)

<当ファンド>

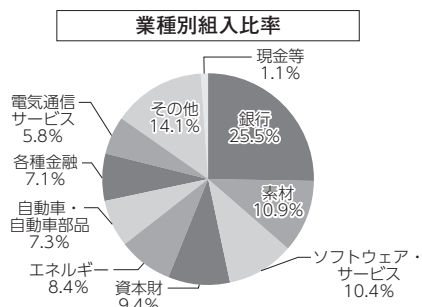
主として「ステイト・バンク・オブ・インド」インド株・マザーファンド」及び「SBI債券スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、基本投資割合をインド株式60%、スリランカ債券40%とし、市況環境、資金動向に応じて機動的に変更を行いつつ運用いたしました。

<ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

なお、直近3月末時点におけるポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※組入比率はいずれもマザーファンドの純資産総額比です。
 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

組入上位銘柄

	銘柄名	業種	比率
			%
1	ICICI銀行	銀行	8.0
2	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	7.0
3	インフォシス	ソフトウェア・サービス	6.2
4	プハルティ・エアテル	電気通信サービス	5.8
5	アクシス銀行	銀行	4.6
組入銘柄数		49銘柄	

< SBIボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用) >

スリランカの短期国債等(国債、政府保証債、政府機関債)及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近3月末時点におけるポートフォリオについては以下の通りとなっております。

保有債券の属性情報

平均残存期間(年)	1.5
平均修正デュレーション(年)	1.3
平均クーポン(%)	10.09
平均直接利回り(%)	9.92
平均最終利回り(%)	8.77
平均格付け	B

※保有債券の時価評価額を基に加重平均し計算しています。

※格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。

保有債券の通貨別構成比

スリランカ・ルピー	100.0%
米ドル	0.0%
円	0.0%

※上表については、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社からの資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年10月8日～2020年4月6日)

当ファンドは主としてSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドに運用を再委託する「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及びSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2019年10月8日～2020年4月6日)

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第9期	第10期
	2019年10月8日～ 2020年1月6日	2020年1月7日～ 2020年4月6日
当期分配金	-	-
(対基準価額比率)	-%	-%
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	819	843

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にインドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドは、以下のよう
にコメントしています。

インド政府が決定した法人税減税は、年間で法人部門に1兆4,500億インド・ルピー（約200億ドル、国内総生産（GDP）の0.7%相当）の直接的な景気刺激効果をもたらすでしょう。こうした政策措置によりインド企業に投資余力が生まれ、法人部門では、特に製造業において中長期の新プロジェクト向け設備投資の形で活用される可能性が高まっています。インド現地で開業した新会社や多国籍企業は、17%の軽減税率の恩恵を受けるためにインドで製造ユニットを開設しようとする可能性があり、中長期的にはインドの輸出の伸びを加速させるでしょう。今回の措置は、中期的にインドのGDP成長率を押し上げる可能性があります。

インド株式市場は、金融セクターを取り巻く懸念を考慮し、インド企業による新たな設備投資サイクルによる効果をまだ十分に織り込んでいません。インドのGDPに対する企業収益の割合は直近数十年間で最低水準にあり、今後は平均回帰の動きが起きる可能性があります。

MSCI インド指数は来期予想利益の17.9倍程度で取引されています（10年間の平均に対して15%程度のプレミアム）。過去18カ月間の中小型株の大幅な低迷は、優良な株を魅力的なバリュエーションで購入できる良い機会を我々に与えています。ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を続けることが収益機会を得る最良の方法だと我々は考えています。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下の
ようにコメントをしています。

外国為替市場においては、スリランカ・ルピーの対円での下落は緩やかなものにとどまると考えております。新型コロナウイルスの感染拡大の影響は不透明感が強いものの、国際通貨基金（IMF）は、引き続きスリランカを支援することを決定していること、またスリランカ中央銀行はスリランカ・ルピーが大きく変動する局面においては対米ドルでの自国通貨買い介入をする姿勢を示していることなどから、株式など金融市場の安定とともにスリランカ・ルピーも安定的な推移に戻るものと思われる。

一方、債券市場においては、スリランカ短期国債利回りはレンジ内で推移することが見込まれます。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、さらなる金融緩和の可能性は否定出来ないものの、現状は先行き不透明感が強いと考えています。また、スリランカ政府は、同国経済の構造改革を進めることにより、IMFからの引き続きの支援を得る方針です。

こうした環境下における当ファンドのパフォーマンスは、短期的には外国為替市場の影響を受けて変動する局面も想定されるものの、長期的にはスリランカ短期国債の相対的に高いインカム収益を中心としてファンドの収益が積み上がっていくものとみています。運用においては、引き続き主にスリランカ現地通貨建て短期国債での運用を継続する方針です。

お知らせ

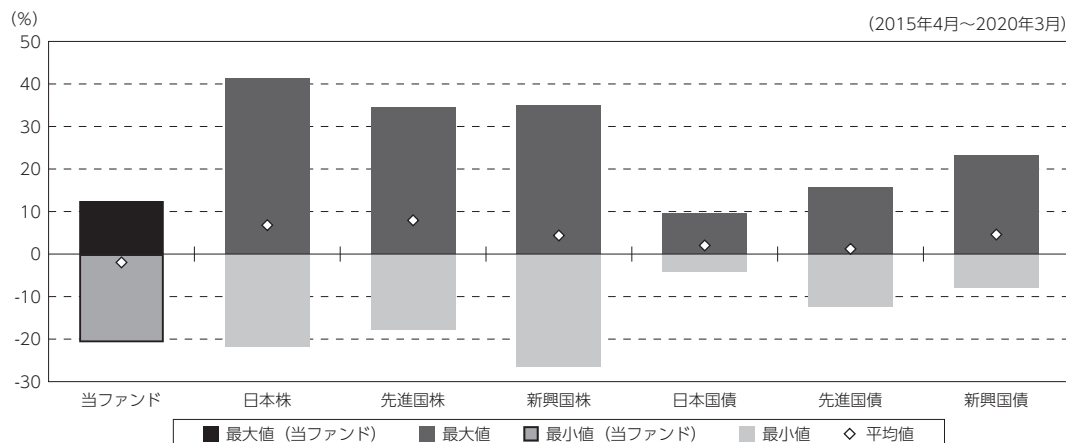
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限（設定日：2017年10月6日）
運用方針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。投資対象とする債券は国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等とします。 なお、今後の発展が見込まれる南アジア諸国の株式及び債券に投資する場合があります。
運用方法	主として「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。 また、原則として、インド株式60%、スリランカ債券40%を基本投資割合とし、市況環境、資金動向に応じて±10%の幅で機動的に変更するものとします。
分配方針	年4回（原則として1月、4月、7月、10月の各5日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.5	41.2	34.5	35.0	9.5	15.7	23.2
最小値	△ 20.7	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	△ 2.0	6.8	7.9	4.4	2.0	1.2	4.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2017年10月6日(設定日)から2020年3月31日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式

先進国株…Morningstar 先進国株式 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式

日本国債…Morningstar 日本国債

先進国債…Morningstar グローバル国債 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

*各指数についての説明は、P15の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年4月6日現在)

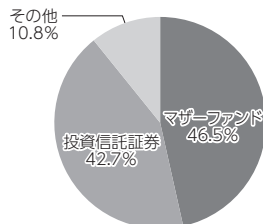
○組入上位ファンド

銘柄名	第10期末
	%
ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド	46.5
SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	42.7
組入銘柄数	2銘柄

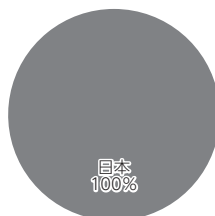
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

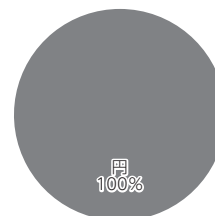
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第9期末	第10期末
	2020年1月6日	2020年4月6日
純資産総額	537,896,651円	356,984,331円
受益権総口数	541,554,690口	474,678,580口
1万口当たり基準価額	9,932円	7,521円

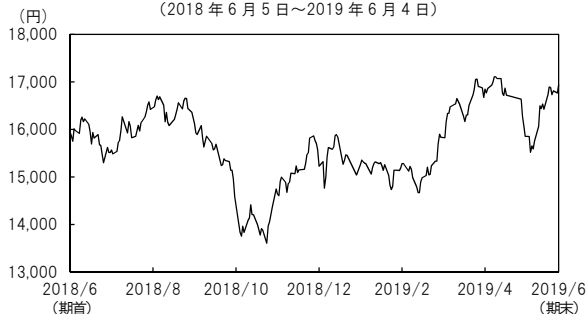
(注) 作成期中における追加設定元本額は9,069,857円、同解約元本額は130,071,587円です。

組入上位ファンドの概要

ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】

(2018年6月5日～2019年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年6月5日～2019年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	22 (22)	0.138 (0.138)
(b) 有価証券取引税 (株式)	19 (19)	0.118 (0.118)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	92 (21) (71)	0.586 (0.133) (0.453)
合計	133	0.842

期中の平均基準価額は、15,722円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2019年6月4日現在)

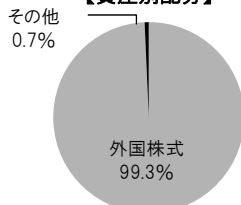
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 アクシス銀行	銀行	インド・ルピー	インド	6.6%
2 インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	6.5%
3 リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	6.2%
4 ICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	5.0%
5 HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	4.5%
6 タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	4.3%
7 インドステイト銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.1%
8 マルチ・スズキ・インディア	自動車・自動車部品	インド・ルピー	インド	3.1%
9 プハルティ・エアテル	電気通信サービス	インド・ルピー	インド	2.9%
10 シュリーセメント	素材	インド・ルピー	インド	2.4%
組入銘柄数	52 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2019 年 6 月 4 日現在のものです。

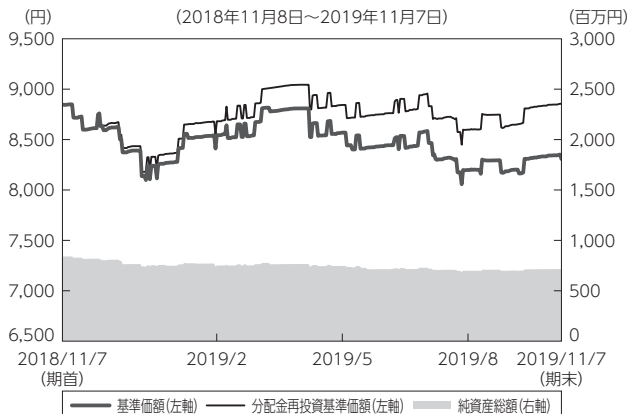
(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBI債券 スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)

以下は当該ファンドを運用するSBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社からのデータを基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

【基準価額等の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年11月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2018年11月8日～2019年11月7日)

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2019年11月7日現在)

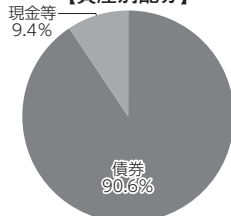
	銘柄名	国(地域)	比率
1	SRILGB 9.45% 2021/10/15	スリランカ	51.3%
2	SRILGB 11% 2021/8/1	スリランカ	39.3%
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		2銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

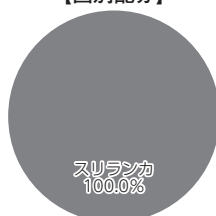
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

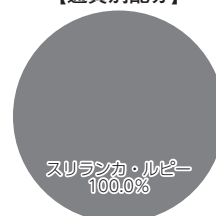
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2019年11月7日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。